

1. より社会資本整備の将来的なビジョンを示す計画とするために、何を改めるべきか。

- 社会資本整備の将来的なビジョンについてどう考え、それを実現するための手段として、社会資本整備重点計画は、どうあるべきと考えるか。
- 現行の社会資本整備重点計画は、「国民に社会資本整備の将来的なビジョンを提示する」という役割を十分に果たしているか。
- 5年、10年ごとの計画ではなく、社会資本整備の将来的なビジョンを念頭に入れた、より長期的な計画とする必要があるか。
- 現行の社会資本整備重点計画について、どのような内容を見直しの主な対象とするか。

2. 人口減少・急速な少子高齢化・深刻な財政状況という3つの制約に対応するため、社会資本整備は、どのように進めていく必要があるか。

- 真に必要な社会資本整備を進めていくには、どのような視点が必要か。
- 老朽化が進む社会資本の維持管理・更新需要への対応について、どう考えるか。
- 新規投資と維持管理・更新との関係について、どう考えるか。
- 選択と集中の観点に基づき、例えば、事業間や事業内での優先順位付けについて、どう考えるか。
- 社会資本整備の重点目標(現在は「活力」、「安全・安心」、「暮らし・環境」、「ストック型社会への対応」)及びアウトカム指標をどう設定するか。
- 社会資本整備を進めていく際に、民間の資金や技術力をどのように活用していくのか。
- 大規模プロジェクトを中止する際の手続について、どのように充実させていくのが適切と考えるか。
- 地域主権については、現在、地域主権戦略会議において議論されているが、社会資本整備重点計画との関係は、どう考えるか。
- ICTやコスト縮減技術などの新たな技術の活用について、どう考えるか。
- その他、現在の社会資本整備にはどのような問題点があると考えるか。